

Together

共に生き共に歩む

たじみ男女共同
参画情報紙

2013年
(平成25年) 3月
第22号



「together たじみ男女共同参画情報紙」は、みなさまに男女共同参画に関する情報提供をすると共に、一緒に考え、作っていくみんなの情報紙を目指しています。あなたらしさ、わたらしさ、個性が発揮できる社会、男女共同参画社会の実現に向け一緒に考えていきましょう。

「第2次たじみ男女共同参画プラン」 後期計画ができました

この計画は、2008年(平成20年)に策定された第2次プラン前期の成果と残された課題を引き継ぎ、また社会情勢における新たな課題への対応を踏まえ、男女共同参画社会の実現を目指すために市が施策と実施事業を示すものです。

第2次たじみ男女共同参画プラン前半を終え、新たな課題として大きく取り上げたのは、近年女性が被害者となる事件として顕著なDV(ドメスティック・バイオレンス)に関することです。

多治見市DV対策基本計画が盛り込まれました

配偶者等からの暴力(ドメスティック・バイオレンス「DV」)は、犯罪となりうる重大な人権侵害です。外部から発見が難しい家庭内で行われるため、潜在化しやすく、加害者に罪の意識が薄いという傾向にあります。そのため、周囲が気づかないうちに、暴力がエスカレートし、被害が深刻化しやすい傾向にあります。

平成19年のDV防止法改正では、市町村の役割として基本計画の策定を努力義務としています。多治見市では、「第2次たじみ男女共同参画プラン」の中でこの基本計画を策定し、相談体制の充実、被害者保護、暴力を許さない社会づくりを行っていきます。

平成25年からは、この後期計画に沿って、さまざまな施策を実施していきます。

第2次
たじみ男女共同参画プラン
後期計画



【平成25年3月】
多治見市

※この後期計画に関する冊子・計画のダイジェスト版は、下記の場所にて平成25年4月以降閲覧、配布の予定です。

市役所本庁舎(ロビー)、子ども支援課、男女共同参画サロン「ほっと」、子どもの権利相談室、公民館、学習館、図書館、笠原分館、子ども情報センター、児童館・児童センター、地区事務所、保健センター
総合福祉センター

詳しくは、くらし人権課へおたずねください。

Together原画展

を開催しました。



平成24年11月10日(土)から
平成24年11月20日(火)まで
まなびパークたじみの1階オープンギャラリー
で開催しました。

多治見市では、平成20年に「第2次たじみ男女共同参画プラン」を策定し、さまざまな施策に取り組んでいます。今年度、後期計画を策定するにあたり、男女共同参画を身近に感じていただくために開催しました。

会場には、情報紙「together」とともに斉藤ひとみさんの原画を展示したり、原画にまつわる小物、男女共同参画に視点をおいた詩を展示しました。

期間中は、会場がまなびパークということもあり、図書館へみえた方が立ち寄りたりとたくさんの方にご来場いただきました。

ご来場いただいた方の感想の一部です。

「心身ともに元気の素をいただきました。」
「クリスマスの絵がすごくうまかったです。」
「すごい本物そっくりですばらしいです。」
「やわらかくてすんでいてとてもきれい、自分もこんな絵が描けたら・・・」
「斉藤さんからのプレゼントのように感じます。」
「詩を読んで自分の母親を思い出しました。」 e t c

足を止めて感想を書き留めてくださったみなさん、ありがとうございました。
また、そうでなかった方も、何かを感じ、男女共同参画社会のあり方について考えていただけたと思います。

また、最後になりましたが、原画を快くお貸しくださった作家の斉藤さん、ありがとうございました。



平成24年度男女共同参画講演会の報告

「そうだ、参画しよう、協奏しよう。」～あなたがつくる“多治見で幸せ”～

8月22日脇之島公民館において、講師 かみうせ たかし 上鵜瀬 孝志氏をお迎えし、講演会を開催しました。当日は、教職員をはじめ、70名が聴講しました。

団塊世代が定年を迎え、この先10万時間の自由時間ができる。この10万時間をどう使うのか、超高齢社会で明るくいいき暮らすためのコツを学びながら、男女がともに、一人ひとりの個性や能力に応じ自己実現を図り、充実した生き方ができる男女共同参画社会についてのお話を伺いました。

※上鵜瀬氏の著書「定年、そして10万時間」を男女共同参画サロン「ほっと」で貸し出しています。

(詳しくは最終ページを参照ください)



男女共同参画に関する企業アンケートを実施しました

多治見市では、平成23年に男女共同参画に関する市民意識調査を実施しました。また今年度は、市役所へ入札参加を希望される企業に対してアンケート調査を実施しました。このアンケートは、「第2次たじみ男女共同参画プラン」後期計画の中で位置付けている「企業への意識啓発と情報提供」を行うための事前準備のひとつとして実施したものです。現在、調査結果をまとめているますが、一部速報値をお知らせします。

調査対象：市役所への入札参加希望企業のうち
物品・役務の業務で登録を希望する
企業（696社）
調査期間：平成24年12月3日～12月28日



右の図は、男女共同参画に関する取り組み状況についてうかがった結果です。

回答をいただいた696社のうち、297社（42.7%）が取り組みなしとの回答でした。

特に10人未満の会社では、約73%に上ります。

少子高齢化が進み、労働力不足が懸念されるようになってきました。「男女雇用機会均等法」「育児・介護休業法」等法整備は進んできましたが、実状は、まだまだ厳しいようです。社会基盤の整備に向けて、行政、企業が連携して取り組んでいきたいものです。

アンケートにご協力いただいた各企業の皆様、ありがとうございました。今後は、この調査結果を基に、施策の推進に積極的に活用させていただきます。



男女共同参画講座

～もっと家庭を居心地良く！～夫婦の“幸せ”コミュニケーション



平成25年2月23日（土）まなびパークたじみにて学習館とくらし人権課主催の講演会を開催しました。

講師に、愛知淑徳大学名誉教授 富安 玲子氏を迎え、子育てや仕事がひと段落した夫婦の生活についてお互いが気持ちよく楽しく過ごしていくために、どんなことに気をつけてコミュニケーションをとったら良いのかなどのお話を伺いました。

当日は、参加者全員が4つのグループに分かれてコミュニケーション術のトレーニングもある講演で、あっという間の2時間でした。

今の平均寿命を考えると、定年退職後、約20年という時間があります。お互いを思いやり、よく聴くことでより良いコミュニケーションをとって、気持ち良く楽しく過ごしていけたら良いなあと思いました。



たじみ男女共同参画サロン ほっと

『ほっと』は、市民のみなさんが自由に集い、ほっとする場、ホットな意見交換ができる場であることをめざしています。グループで参加されても、一人で参加されてもOKです。

悩みごと相談

1人で悩んでいませんか？

自分のこと、家族のこと、職場のこと・・・

さまざまな悩みを女性アドバイザーに相談してみましょう。

多治見市役所子ども支援課の女性相談員も相談に応じます。

情報交換・情報発信

グループ活動の情報交換や交流の場としてご利用いただけます。

また、男女共同参画に関する講座案内、情報紙など資料があります。

参考資料の貸し出し

女性の人権、仕事と子育ての両立など、

男女共同参画に関する図書・DVDを無料で貸し出しています。

グループの学習会などにもご利用ください。

【お問い合わせ】多治見市くらし人権課 22-1111（内線1152）

開設日 毎月第3金曜日
午後1時～5時

場所 まなびパークたじみ
1階学習室 101

「来年主人が定年で家にずっと居ようになるの。どうしたら良いかしら」

とか

「子どもから手が離れたから、再就職したいけど、何から手をつければ良いかなあ」

など

アドバイザーに話してみませんか。話すことで、問題解決の糸口が見つかるかもしれません。

お気軽にお越しください。
男性の方もお待ちしております。



みんなでおしゃべりをして、
ストレスを発散しましょう！

図書・DVDの紹介

たじみ男女共同参画サロン「ほっと」が、所蔵している図書やDVDを紹介します。無料で貸し出していますので、ぜひお立ち寄りください。



『定年、そして10万時間』
上鵜瀬孝志：著
(角川学芸出版)

定年後の男性には、40年間のサラリーマン人生に等しい10万時間という途方もない自由が約束されている。料理教室？図書館通い？競馬？そば打ち？定年後、どう生きればよいかを楽しく提案します。



『錆びない生き方』
坂東眞理子：著
(講談社)

もう、悩まない！人生ハーフタイムの戦略団塊世代を迎える前に身につけてほしいこと、社会や家庭での作法などを男の心理と行動を把握している著者がわかりやすく解説する。ビジネスマンのための指南書。



『家事する男は美しい』
しよしかんぽう
藤原ゆきえ：著（書肆侃侃房）

家事1年生、定年後家事を覚えたい人にもわかりやすい一冊です。料理、掃除、洗濯、育児の中から、自分が好きなことから始めてみませんか。家事ができるようになると、暮らしをたのしむことができるようになってきますよ。自分は何もできないと思っている人こそ始めてみましょう。イラストが満載で、たのしみながら家事を始めることができます。自分のために、そして何もできないあの人へのプレゼントにもおすすめです。



この情報紙へのご意見やお問い合わせはこちらまで。

発行：多治見市役所環境文化部くらし人権課 人権グループ
〒507-8703 多治見市日ノ出町2丁目15番地
電話 0572-22-1111（内線1152） FAX 0572-25-7233
E-mail: kurashi-jinken@city.tajimi.lg.jp
HP: <http://www.city.tajimi.lg.jp/kurashi/jinken/danjo/index.html>